

製品名: MX1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21071**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:76kD;Observed MW:76kD

抗原情報

遺伝子名	MX1
別名	
遺伝子 ID	4599.0
SwissProt ID	P20591
免疫原	ヒト MX1 の合成ペプチド

背景

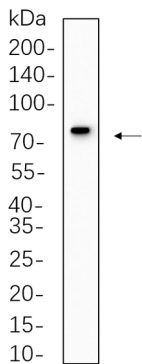
細胞局在: 細胞質。小胞体膜; 膜タンパク質; 細胞質側。細胞質、核周縁部。負に帯電したリン脂質に優先的に結合します (PubMed:21900240)。核周縁部で CCHFV タンパク質 N と共局在します (PubMed:15047845)。[アイソフォーム 2]: 細胞質。

核。HSV-1 感染細胞の核に移行します (PubMed:20603636) 。この遺伝子は、細胞の抗ウイルス応答に関与するグアノシン三リン酸 (GTP) 代謝タンパク質をコードします。コードされたタンパク質は、I型およびII型インターフェロンによって誘導され、いくつかの異なる RNA および DNA ウイルスの複製プロセスに拮抗します。この遺伝子に隣接する 21 番染色体上に関連遺伝子が存在し、4 番染色体上にはクラスター状に複数の擬似遺伝子が存在する。選択的スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。
[RefSeq 提供、2013 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



A549 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを MX1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。